

## 試験研究成果普及情報

部門	果樹	対象	普及
課題名：イチジクの効率的な苗木育成法（２）さし木に適した穂木の条件			
[要約] イチジクのさし木では、枝の上部から採取した細い穂木を用いても活着さえすれば十分な大きさの苗木を得ることができる。ただし、樹勢がやや強以下の品種では、細い穂木の活着率が低くなる傾向があるので留意する必要がある。			
キーワード イチジク、さし木活着率、樹勢、採穂部位、穂木径			
実施機関名	主 査 農業総合研究センター・育種研究所・果樹植木育種研究室 協力機関		
実施期間	2007年度		

### [ 目的及び背景 ]

近年、観光・直売向けに新たなイチジク品種の導入を検討する生産者が多くなっており、低コスト化を図るために苗木の自家増殖技術の確立が求められている。イチジクのさし木では、穂木は一般的に枝の中間部の充実した部分を用いるとされているが、新たな品種の導入時などにはそのような穂木が数多く得られるわけではない。そこで、樹勢が中程度の「柘井ドーフィン」、やや強の「バナーネ」、強の「ブルジャソット・グリーズ」の3品種を用いて、穂木の採取部位や穂木重がさし木活着率やその後の苗木生育に及ぼす影響を検討し、樹勢別の適切な穂木条件を明らかにする。

### [ 成果内容 ]

- 1 3品種とも穂木の採取部位、及び穂重がさし木後の苗木の生育に及ぼす影響は少なく、細く軽い穂木を用いても活着さえすれば苗木として十分な大きさのものが得られる（表1）。
- 2 比較的細い穂木を用いた場合、活着率は「ブルジャソット・グリーズ」、「バナーネ」、「柘井ドーフィン」の順で高く、樹勢の強い品種ほど活着率が高い（表2）。
- 3 樹勢が中程度の「柘井ドーフィン」では、穂木径が12mm以上であれば60%以上の活着率が得られ、16~20mmでは90%以上の活着率が得られる。（表2）。
- 4 樹勢がやや強の「バナーネ」では、枝のどの部分を用いても60%以上の活着率が得られ、穂木径16mm以上では90%以上の活着率が得られる（表2）。
- 5 樹勢が強の「ブルジャソット・グリーズ」では、穂木径に関係なく活着率が高く、枝のどの部分も穂木として使用することができる（表2）。

### [ 留意事項 ]

- 1 さし木前の穂木は乾燥させないように注意する。乾燥が進んでしまった場合はさし木前に1日間水に浸漬し、吸水させる。
- 2 苗床には黒マルチを使用する。

[ 普及対象地域 ] 県下イチジク栽培地域

[ 行政上の措置 ]

[ 普及状況 ]

[ 成果の概要 ]

表1 穂木の採取部位の違いによる苗木の生育

品種名	穂木採取部位	穂木径 (mm)	穂木重 (g)	活着率 (%)	8月		12月		
					苗木長 (cm)	苗木径 (mm)	苗木長 (cm)	苗木径 (mm)	苗木重 (g)
榊井ドーフィン	上	10.3	14.4	47	83 a	13.8 a	148 a	22.0 a	480 a
	中	13.9	26.3	69	98 a	14.7 a	145 a	21.6 a	466 a
	下	17.4	43.8	71	92 a	14.0 a	133 a	19.8 a	438 a
	平均	13.8	28.2	62	92	14.2	141	21.1	459
バナーネ	上	11.0	16.3	67	113 a	15.2 a	151 a	22.5 a	538 a
	中	14.9	30.4	80	116 a	16.0 a	149 a	22.5 a	560 a
	下	19.8	58.4	93	115 a	16.0 a	143 a	22.1 a	554 a
	平均	15.2	35.0	80	115	15.8	147	22.3	551
ブルジャソット グリーズ	上	14.0	27.2	89	122 a	17.0 a	166 a	24.0 a	621 a
	中	19.0	52.5	91	136 b	17.9 a	181 a	25.8 a	747 b
	下	22.5	71.2	91	131 b	17.9 a	174 a	25.2 a	743 ab
	平均	18.5	50.3	90	129	17.6	174	25.0	704

注1) 施肥はH19年1月に苦土石灰100kg/10a、有機質肥料をN11.5kg/10a (換算) 散布し、耕耘した

2) 苗床には黒マルチを張り、さし木間隔は畝幅110cm、株間20cmとし、H19年4月12日にさし木した

3) 穂木の採取部位は、前年産苗木を3等分した時の部位を示す

4) 穂木は長さ約18cmに調製

5) 穂木径は穂木の上端から1cm下部分の直径

6) 苗木径は出芽位置から10cm上の直径

7) 同じ品種内の同一英字の付いた数値には5%水準で有意差なし (Turkey-Kramerの多重比較による)

表2 穂木径と苗木の活着率

穂木径 (mm)	榊井ドーフィン			バナーネ			ブルジャソット グリーズ		
	さし木数 (本)	活着数 (本)	活着率 (%)	さし木数 (本)	活着数 (本)	活着率 (%)	さし木数 (本)	活着数 (本)	活着率 (%)
10未満	25	11	44.0	13	8	61.5	-	-	-
10~12未満	25	12	48.0	22	14	63.6	7	6	85.7
12~14未満	24	16	66.7	24	20	83.3	16	15	93.8
14~16未満	23	15	65.2	26	20	76.9	26	23	88.5
16~18未満	15	14	93.3	22	20	90.9	19	19	100.0
18~20未満	12	11	91.7	11	10	90.9	15	12	80.0
20~22未満	11	5	45.5	3	3	100.0	24	22	91.7
22以上	-	-	-	14	13	92.9	28	25	89.3

注1) 穂木径は穂木上端から1cm下の直径

2) 穂木は長さ18cmに調製

[ 発表及び関連文献 ]

平成20年度試験研究成果発表会 (果樹部門)

[ その他 ]